

連続研究会「『生きる』教育」

「荒れ」（暴力や暴言、いじめなど）や自傷行為を防ぎ、自分も周りの人々も大切に子どもたちを育てるために、学校教育では何にどのように取り組めばいいのでしょうか。この問いについて考えるために、本連続研究会では、大阪市立生野南小学校（現・田島南小学校）が開発した「『生きる』教育」に注目します。

当校では10年前、子どもたちの心の傷がもたらす激しい「荒れ」に直面していましたが、様々な手立てによって学校として再生しました。「『生きる』教育」では、支配にも依存にも陥らない人間関係の作り方や、「子どもの権利」を学んで「受援力」を身につけること、自分の過去・現在・未来をつないでアイデンティティを形成することなどが目指されています。心理学や社会福祉など多彩な専門的知見を踏まえて開発されたプログラムであり、虐待などによる心の傷を抱えた子どもたちだけでなく、すべての子どもたちに保障すべき内容が多く含まれています。

この連続研究会では、「『生きる』教育」の実践を検討するとともに、その根底にある理論的な知見を学んでいきたいと考えています。第2回研究会では、「『生きる』教育」がなぜ必要なのか、シングルマザーへの支援に取り組んでおられる社会福祉士の辻由起子先生に語っていただきます。

※参考文献：西澤哲・西岡加名恵監修、小野太恵子・木村幹彦・塩見貴志編著『「『生きる』教育」——自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ』（生野南小学校教育実践シリーズ 第1巻）日本標準、2022年



第2回

2023年2月11日(土)

14:30~16:30

Zoomによるオンライン開催
(参加費無料)

学校の先生方、教員志望の学生、
教育委員会関係者、子ども支援に
携わる方などのご参加をお待ち
しております。

【プログラム】

14:30~14:35 趣旨説明

14:35~15:25 講演：「『生きる』教育」の必要性

辻由起子先生（社会福祉士）

NPO 法人西成チャイルド・ケア・センター理事、
内閣官房子ども政策参与などを歴任。

15:25~15:35 休憩（&質問受付）

15:35~16:15 ご質問への応答、ディスカッション

16:15~16:30 交流タイム

司会・コーディネーター：

京都大学大学院教育学研究科・教授 西岡加名恵

※お申込みフォーム <https://forms.gle/di5GbUwWxrptMfEV9>

参加申込締切：2月6日(月) 先着270名様まで。

